

令和8年度庄原市学校図書館研修会 兼 学校司書研修会

- 日 時：令和8年7月3日（金）
- 場 所：庄原市立東城小学校
- 対象者：庄原市内各小・中学校の図書館担当者、学校司書等

目 的

児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を促進する学校図書館づくりについて研修することを通して、学校図書館担当者と学校司書が連携し、図書館の活用と児童生徒の読書活動の充実を図る。

実践発表・図書館見学・協議「子供の読書を推進する取組 ～わくわくレインボー図書室～」
庄原市立東城小学校 教諭 引田 秀美

- ◆令和8年度子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞した東城小学校の読書推進の取組を共有した。

環境整備…学校のいたるところで本を手にとれる環境を作り、児童が本に出合えるきっかけづくりをしている。

児童主体の活動…「子供司書」や図書委員が目標をもち、読書の楽しさを広める活動をしている。

保護者・地域との連携…保護者を巻き込んだ読書活動の推進、学校運営協議会や地域の本屋と連携することにより、より豊かな読書活動を展開している。



講話・交流 「庄原市の子供の読書活動の現状と学校における読書活動推進について」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 延近 恵

- ◆庄原市の子供たちの不読率等の現状を確認するとともに、多様な児童生徒に本の魅力を伝える各校の取組を交流した。
- ・リーディングトラッカーや電子書籍等の活用も読書のしやすさ、読書機会の拡充につながる。



【参加者の感想】

- ◇図書室、教室前、廊下等、すぐに本が読める環境を見せていただき、ワクワクした。きっと子供たちも同じ気持ちで本を手にとっているのだろうと思った。
- ◇学校の環境を最大限に生かした実践だった。本校でもリサイクル本の取組を取り入れてみたい。
- ◇小学校でたくさん本を読んでいる子供が、中学生になり時間がなくなったことで読書離れをしている現状がある。先生や友達など身近な人からの本の紹介は生徒も興味をもちやすいので、新たな取組を考えてみたいと思った。